

# 令和6年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画・収支予算

## 事業計画

### 基本理念

市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を推進します。

### 基本方針

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけで令和5年5月より5類に緩和されたことにより、地域住民の生活も以前と同じような活気を取り戻した状況と言えます。しかし、この感染症の流行の前と後では、地域住民を取り巻く環境は大きく変わりました。ソーシャルディスタンスの下で、地域の住民同士のつながりは分断され、地域の抱える課題やニーズは個別化されて、より多様化し、複雑化・深刻化が進みました。わたしたちは地域社会の関係性を回復させつつ、より強化しながら、アフターコロナの時代が抱える新たな課題の解決に取り組んでいきます。

近年、全国各地で発生している、想定外といわれる自然災害は、いつ、どこで発生してもおかしくない状況で、阿賀野市も例外とは言えません。令和3年度から実施している災害ボランティア活動に対する住民への啓発活動の継続や、主に役職員を対象にした災害ボランティアセンターの設置運営訓練等の平時からの防災・減災に向けた体制の整備やさまざまな関係機関とのネットワークの構築を継続していきます。

日常生活自立支援事業等により地域の権利擁護支援を必要とする人の相談支援の充実を図ります。

通所介護事業において、ここ数年間介護保険収入の減少が続いています。特別養護老人ホームの整備が進み、以前に比べて迅速に施設入所が可能となったこと等の高齢者を取り巻く状況の変化やこれまでの「お預かり型」のデイサービスから運動を行って予防を重視する「リハビリ型」のデイサービスが求められるという通所介護の役割の変化等への対応が遅れたことが要因の1つとして考えられます。

そのため、令和6年度の介護保険法改正に合わせて、科学的介護情報システム(LIFE)を活用して、エビデンス(根拠)に基づいた介護を提供できる体制を構築して、利用者の自立支援と重度化防止等の取り組みを行えるように方向転換していきます。具体的には、第二わかばの里で導入したりハビリソフト「リハプラン」をむすびの里、第二むすびの里にも導入して、新たに加算を算定します。さらに、LIFEを活用することで算定可能となる加算を積み上げることで、利用者一人当たりの収益率を現在よりも上げることを目指します。

赤字解消を図るうえで稼働率の向上は必須です。今年度が赤字解消の足掛かりとなるよう、新規利用者の紹介をしていただけるケアマネジャーへの営業の質を高めていきます。具体的には次のことを行います。まず、居宅介護支援事業所へ定期的に訪問を行い情報収集、新規依頼等を行う営業担当の職員を新たに配置します。次に、現在、ケアマネジャーからの新規の問い合わせは各事業所の生活相談員が対応していますが、生活相談員によって対応の違いがあることは否めません。そこで、新規の受け入れの可否を社協として統一した考え方でできるように問い合わせ窓口を一本化します。さらに、現在それぞれの施設で発行している広報紙を1つにまとめて、デイサービスセンターのサービスの様子がより伝えられるように、情報発信力を強化します。これらを行うことで社協のデイサービスセンターをアピールし、ケアマネジャーからの信頼をより確かなものにできるようにしていきます。

加えて、令和4年度に開設した児童発達支援センターは、その専門機能を活かし、地域の発達の気になるお子さん、育てにくさを感じるお子さんやその家族への相談、また、それらのお子さんを預かる施設への援助・助言を行うなど、地域の中核的な療育支援を行う役割を担ってきました。今後、五泉市と阿賀町を含めた圏域でも、その役割を担えるかどうか関係機関と意見交換を重ねつつ、圏域化についての課題を検討・整理して、将来の方向性を考えていきます。

### 重点事項

1. 広く関係機関との連携を図り、生活困窮者への包括的・継続的な支援の強化
2. ボランティア活動の支援と人材育成
3. 災害ボランティア活動の啓発
4. 介護保険サービス、障害福祉サービスの充実
5. 児童発達支援センターの充実
6. 阿賀野市指定管理者制度事業の推進
  - (1) 阿賀野市デイサービスセンター
  - (2) 保健福祉センター「京和荘」(複合型施設)

## 収支予算

科 目		予 算 (円)	科 目		予 算 (円)
収 入	会費収入	4,303,000	支 出	人件費支出	331,839,000
	寄付金収入	49,000		事業費支出	80,592,000
	経常経費補助金収入	76,181,000		事務費支出	38,147,000
	受託金収入	38,704,000		就労支援事業費支出	4,041,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	638,000		助成金支出	463,000
	介護保険事業収入	216,632,000		固定資産取得支出	0
	就労支援事業収入	4,041,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	686,000
	障害福祉サービス等事業収入	95,807,000		積立資産支出	1,000
	その他の事業収入	60,000		その他の活動による支出	15,451,000
	受取利息配当金収入	12,000			
	その他の収入	816,000			
	その他の活動による収入	4,948,000			
収入合計	442,691,000	支出合計	471,720,000		
		当期資金収支差額	△ 29,029,000		